

〔科目名〕 学習導入演習	〔単位数〕 2単位	〔科目区分〕 アカデミック・コモンベークス(必修)
〔担当者〕 長岡朋人	〔オフィス・アワー〕 時間:12:20~12:50(要予約) 場所:605 研究室	〔授業の方法〕 演習
〔科目の概要〕 本講義は、大学における学習方法の基礎を身につけることを目的とします。大学と高校の学習の違い、文章の読み方と要約の方法、レポートの書き方、引用の方法、情報の検索方法、図書館の利用方法、論文の検索方法、新聞記事の検索方法、プレゼンテーションの方法、電子メールの書き方、インターネットの利用の注意点を指導します。授業の進行は、教科書に基づいて必要な知識の定着を図り、その上で学生が課題に取り組みます。ときには図書館やインターネットを教材に、学生自身が日常生活において役に立つ知識の定着を図ります。		
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 大学での学習は高校とは異なり、学生が主体的になって行います。自主学習能力を涵養するために、大学での講義の受け方、レポートの書き方、プレゼンテーションの方法を身につけます。学習導入演習は今後の教養科目や専門科目の学習の基礎力になります。		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 中間目標は下記の通りです。 (1) 講義中のメモの取り方を理解します。 (2) 情報の検索方法を理解します。 (3) 文章を読み他者の意見を要約できるようになります。 (4) レポートの書き方を身につけます。 (5) 引用の方法を理解します。 (6) プレゼンテーションの方法を身につけます。 (7) 電子メールの書き方を身につけます。 最終目標は下記の通りです。 (1) 自己学習能力を涵養します。 (2) 他者の意見を正しく理解した上で自分の意見を述べられます。 (3) 情報を鵜呑みにせず取捨選択する能力を身につけます。 (4) レポートや学術論文を書くときのマナーを身につけます。		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 (1) 一部の課題をメールでの提出にしましたが、苦手とする学生が多く、教育の余地がありました。今後、メールの書き方について、実践的な教育を行う予定です。 (2) 講義時の配布資料を受け取らずに後日教員にクレームを寄せる学生がありますが、講義時の配布資料の受け取りは学生自身の責任で行うもので、教員がすべて一人一人に手渡すものではありません。大人としての言動を期待します。		
〔教科書〕 なし		
〔指定図書〕 「新・知のツールボックス」(専修大学出版企画委員会、専修大学出版局、2018年)		
〔参考書〕 なし		
〔前提科目〕 なし		

<p>〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 講義内での課題への取り組み 50%、レポート 50%で評価します。</p>	
<p>〔評価の基準及びスケール〕 Aは80点以上、Bは70～79点、Cは60～69点、Dは50～59点、Eは49点以下と評価します。無断欠席は原則として3回でF評価とします(無断欠席は2回まで許容するという意味ではありません)。課題の未提出者や遅延者はF評価とする。</p>	
<p>〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 大学での学習は学生が主体的に行います。講義への積極的な参加を希望します。講義の要望や改善点の指摘は歓迎します。電子メールは所属、氏名、受講科目を名乗って用件をお伝えください。</p>	
<p>〔実務経歴〕 該当なし</p>	
<p>授業スケジュール</p>	
第1回	<p>テーマ(何を学ぶか): 大学における学習の基礎 内 容: 講義の趣旨説明を行います。グループ分けを行い、学生同士自己紹介をします。大学と高校の学習の違いを理解します。</p> <p>教科書・指定図書「新・知のツールボックス」(専修大学出版企画委員会、専修大学出版局、2018年)</p>
第2回	<p>テーマ(何を学ぶか): 講義におけるメモの取り方 内 容: 講義のノートの取り方について理解します。つなぎの言葉や相手の話す癖に注意してメモを取る練習をします。</p> <p>教科書・指定図書「新・知のツールボックス」(専修大学出版企画委員会、専修大学出版局、2018年)</p>
第3回	<p>テーマ(何を学ぶか): 情報を検索する 内 容: インターネット、新聞記事、本、論文の情報検索の方法を理解します。</p> <p>教科書・指定図書「新・知のツールボックス」(専修大学出版企画委員会、専修大学出版局、2018年)</p>
第4回	<p>テーマ(何を学ぶか): 図書館を利用する 内 容: 図書館の利用方法を学びます。開架図書の検索や論文の検索を行います。</p> <p>教科書・指定図書「新・知のツールボックス」(専修大学出版企画委員会、専修大学出版局、2018年)</p>
第5回	<p>テーマ(何を学ぶか): インターネットを利用する 内 容: スマートフォンやパソコンを使って教員にメールを書く練習をします。また、インターネット利用の注意点を理解します。</p> <p>教科書・指定図書「新・知のツールボックス」(専修大学出版企画委員会、専修大学出版局、2018年)</p>
第6回	<p>テーマ(何を学ぶか): 文章を読む 内 容: 段落や接続詞に注意して読解する練習を行います。</p> <p>教科書・指定図書「新・知のツールボックス」(専修大学出版企画委員会、専修大学出版局、2018年)</p>
第7回	<p>テーマ(何を学ぶか): 文章を読む 内 容: 段落や接続詞に注意して読解し、要約する練習を行います。</p> <p>教科書・指定図書「新・知のツールボックス」(専修大学出版企画委員会、専修大学出版局、2018年)</p>
第8回	<p>テーマ(何を学ぶか): 文章を読む 内 容: 段落や接続詞に注意して読解し、要約する練習を繰り返します。</p> <p>教科書・指定図書「新・知のツールボックス」(専修大学出版企画委員会、専修大学出版局、2018年)</p>

第9回	<p>テーマ(何を学ぶか):レポートを書く 内 容:レポートの書式について学びます。</p> <p>教科書・指定図書「新・知のツールボックス」(専修大学出版企画委員会、専修大学出版局、2018年)</p>
第10回	<p>テーマ(何を学ぶか):レポートを書く 内 容:レポートのための情報検索と構成を考えます。</p> <p>教科書・指定図書「新・知のツールボックス」(専修大学出版企画委員会、専修大学出版局、2018年)</p>
第11回	<p>テーマ(何を学ぶか):レポートを書く 内 容:文献の引用方法(ハーバード方式とバンクーバー方式)を学びます。</p> <p>教科書・指定図書「新・知のツールボックス」(専修大学出版企画委員会、専修大学出版局、2018年)</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか):レポートを書く 内 容:これまでの学習を踏まえてレポートを書いてみましょう。</p> <p>教科書・指定図書「新・知のツールボックス」(専修大学出版企画委員会、専修大学出版局、2018年)</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか):レポートを書く 内 容:プレゼンテーションのマナーと方法を理解した上で、レポート課題についてプレゼンテーションを行います。</p> <p>教科書・指定図書「新・知のツールボックス」(専修大学出版企画委員会、専修大学出版局、2018年)</p>
第14回	<p>テーマ(何を学ぶか):レポートを書く 内 容:プレゼンテーションのマナーと方法を理解した上で、レポート課題についてプレゼンテーションを行います。</p> <p>教科書・指定図書「新・知のツールボックス」(専修大学出版企画委員会、専修大学出版局、2018年)</p>
第15回	<p>テーマ(何を学ぶか):メールを書く メールの書き方を学び、担当教員にメールを書きます。</p> <p>教科書・指定図書「新・知のツールボックス」(専修大学出版企画委員会、専修大学出版局、2018年)</p>
試験	レポート